

天建寺橋		TENKENJI bridge	
● 発注者 :	佐賀県	● 橋梁形式 :	3径間連続PC斜張橋
● 設計者 :	(株) 日本構造橋梁研究所	● 橋長 × 幅員 :	426.0m × 14.6~17.6m
● 施工者 :	鹿島・オリエンタルJV 清水・松尾建設JV	● 着工・竣工年月 :	1996年7月~1999年3月
● 工事場所 :	佐賀県三養基郡三根町~福岡県久留		

天建寺橋		TENKENJI bridge	
● 発注者 :	佐賀県	● 橋梁形式 :	3径間連続PC斜張橋
● 設計者 :	(株) 日本構造橋梁研究所	● 橋長 × 幅員 :	426.0m × 14.6~17.6m
● 施工者 :	鹿島・オリエンタルJV 清水・松尾建設JV	● 着工・竣工年月 :	1996年7月~1999年3月
● 工事場所 :	佐賀県三養基郡三根町~福岡県久留		

天建寺橋		TENKENJI bridge	
● 発注者 :	佐賀県	● 橋梁形式 :	3径間連続PC斜張橋
● 設計者 :	(株) 日本構造橋梁研究所	● 橋長 × 幅員 :	426.0m × 14.6~17.6m
● 施工者 :	鹿島・オリエンタルJV 清水・松尾建設JV	● 着工・竣工年月 :	1996年7月~1999年3月
● 工事場所 :	佐賀県三養基郡三根町~福岡県久留		

天建寺橋 TENKENJI bridge	
● 発注者 : 佐賀県	● 橋梁形式 : 3径間連続PC斜張橋
● 設計者 : (株) 日本構造橋梁研究所	
● 施工者 : 鹿島・オリエンタルJV 清水・松尾建設JV	● 橋長 × 幅員 : 426.0m × 14.6~17.6m
● 工事場所 : 佐賀県三養基郡三根町～福岡県久留	● 着工・竣工年月 : 1996年7月～1999年3月

天建寺橋 TENKENJI bridge	
● 発注者 : 佐賀県	● 橋梁形式 : 3径間連続PC斜張橋
● 設計者 : (株) 日本構造橋梁研究所	
● 施工者 : 鹿島・オリエンタルJV 清水・松尾建設JV	● 橋長 × 幅員 : 426.0m × 14.6~17.6m
● 工事場所 : 佐賀県三養基郡三根町～福岡県久留	● 着工・竣工年月 : 1996年7月～1999年3月

天建寺橋 TENKENJI bridge	
● 発注者 : 佐賀県	● 橋梁形式 : 3径間連続PC斜張橋
● 設計者 : (株) 日本構造橋梁研究所	
● 施工者 : 鹿島・オリエンタルJV 清水・松尾建設JV	● 橋長 × 幅員 : 426.0m × 14.6~17.6m
● 工事場所 : 佐賀県三養基郡三根町～福岡県久留	● 着工・竣工年月 : 1996年7月～1999年3月



- 地域のランドマークになる橋長426.0m中央支間219.0mを有する3径間連続PC斜張橋
- 施工当時 3室箱桁断面を有するPC斜張橋としては日本で初めてプレキャストセグメント工法採用
- セグメントは、セミショートラインマッチキャスト工法で製作
- 設計基準強度60n/mm2の高強度コンクリートを採用
-
-

- 地域のランドマークになる橋長426.0m中央支間219.0mを有する3径間連続PC斜張橋
- 施工当時 3室箱桁断面を有するPC斜張橋としては日本で初めてプレキャストセグメント工法採用
- セグメントは、セミショートラインマッチキャスト工法で製作
- 設計基準強度60n/mm2の高強度コンクリートを採用
-
-

- 地域のランドマークになる橋長426.0m中央支間219.0mを有する3径間連続PC斜張橋
- 施工当時 3室箱桁断面を有するPC斜張橋としては日本で初めてプレキャストセグメント工法採用
- セグメントは、セミショートラインマッチキャスト工法で製作
- 設計基準強度60n/mm2の高強度コンクリートを採用
-
-

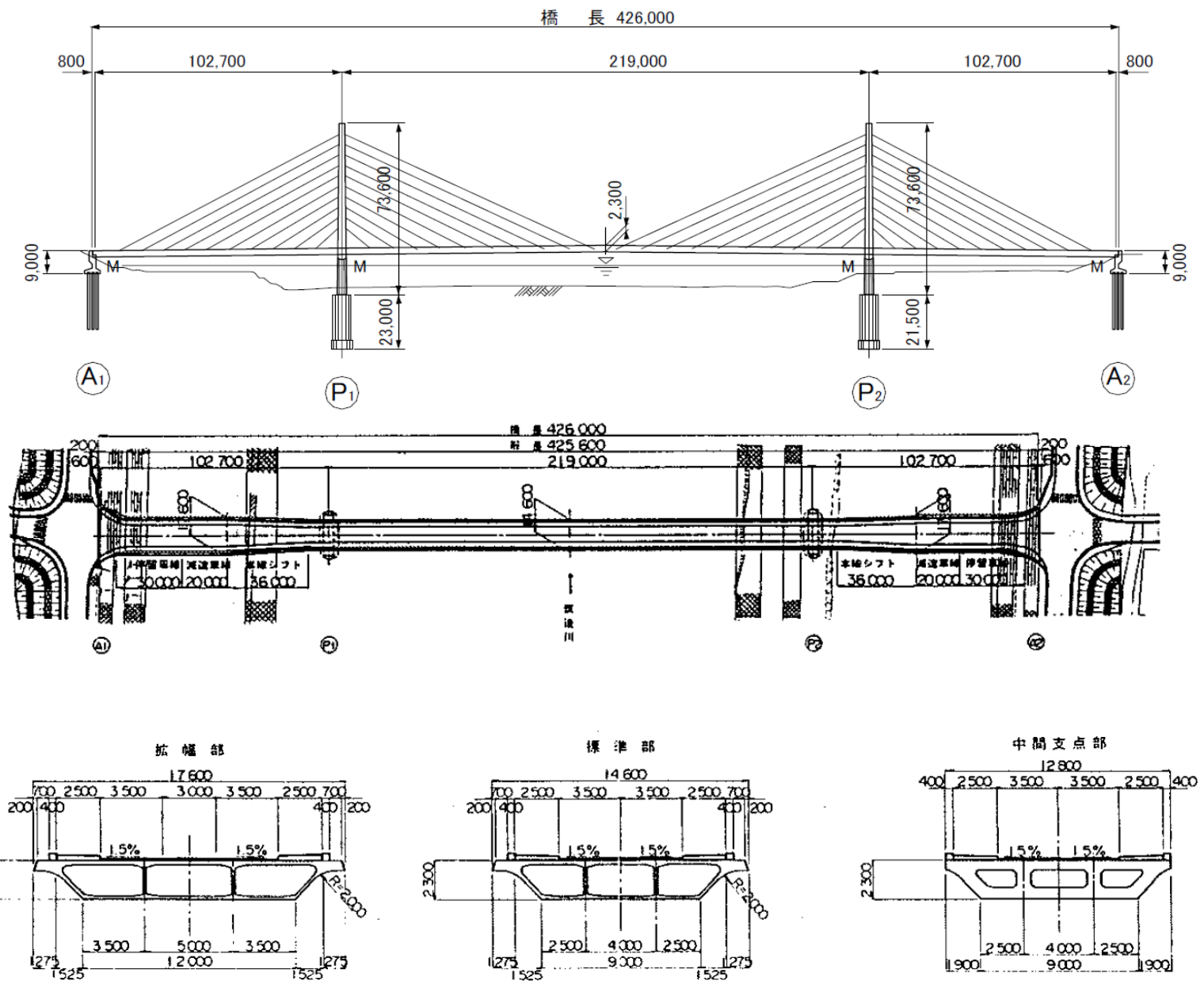
- 地域のランドマークになる橋長426.0m中央支間219.0mを有する3径間連続PC斜張橋
- 施工当時 3室箱桁断面を有するPC斜張橋としては日本で初めてプレキャストセグメント工法採用
- セグメントは、セミショートラインマッチキャスト工法で製作
- 設計基準強度60n/mm2の高強度コンクリートを採用
-
-

- 地域のランドマークになる橋長426.0m中央支間219.0mを有する3径間連続PC斜張橋
- 施工当時 3室箱桁断面を有するPC斜張橋としては日本で初めてプレキャストセグメント工法採用
- セグメントは、セミショートラインマッチキャスト工法で製作
- 設計基準強度60n/mm2の高強度コンクリートを採用
-
-

- 地域のランドマークになる橋長426.0m中央支間219.0mを有する3径間連続PC斜張橋
- 施工当時 3室箱桁断面を有するPC斜張橋としては日本で初めてプレキャストセグメント工法採用
- セグメントは、セミショートラインマッチキャスト工法で製作
- 設計基準強度60n/mm2の高強度コンクリートを採用
-
-

- 地域のランドマークになる橋長426.0m中央支間219.0mを有する3径間連続PC斜張橋
- 施工当時 3室箱桁断面を有するPC斜張橋としては日本で初めてプレキャストセグメント工法採用
- セグメントは、セミショートラインマッチキャスト工法で製作
- 設計基準強度60n/mm2の高強度コンクリートを採用
-
-

構造図



構造諸元

構造諸元	
用 途 :	道路橋（一般県道西島筑邦線）
支 間 割 :	102.7+219.0+102.7m
P C 定着工法 :	フレシネー工法（主桁・斜材）、ディビダーク工法（主桁）
架設補助工法 :	エレクションガーダー架設

構造諸元	
用 途 :	道路橋（一般県道西島筑邦線）
支 間 割 :	102.7+219.0+102.7m
P C 定着工法 :	フレシネー工法（主桁・斜材）、ディビダーク工法（主桁）
架設補助工法 :	エレクションガーダー架設

構造諸元	
用 途 :	道路橋（一般県道西島筑邦線）
支 間 割 :	102.7+219.0+102.7m
P C 定着工法 :	フレシネー工法（主桁・斜材）、ディビダーク工法（主桁）
架設補助工法 :	エレクションガーダー架設

構造諸元	
用 途 :	道路橋（一般県道西島筑邦線）
支 間 割 :	102.7+219.0+102.7m
P C 定着工法 :	フレシネー工法（主桁・斜材）、ディビダーク工法（主桁）
架設補助工法 :	エレクションガーダー架設

文献等

● 文献等

- 橋梁と基礎 1998年12月号
- 第7回 プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム
-
-

● 文献等

- 橋梁と基礎 1998年12月号
- 第7回 プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム
-
-

● 文献等

- 橋梁と基礎 1998年12月号
- 第7回 プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム
-
-

● 文献等

- 橋梁と基礎 1998年12月号
- 第7回 プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム
-
-